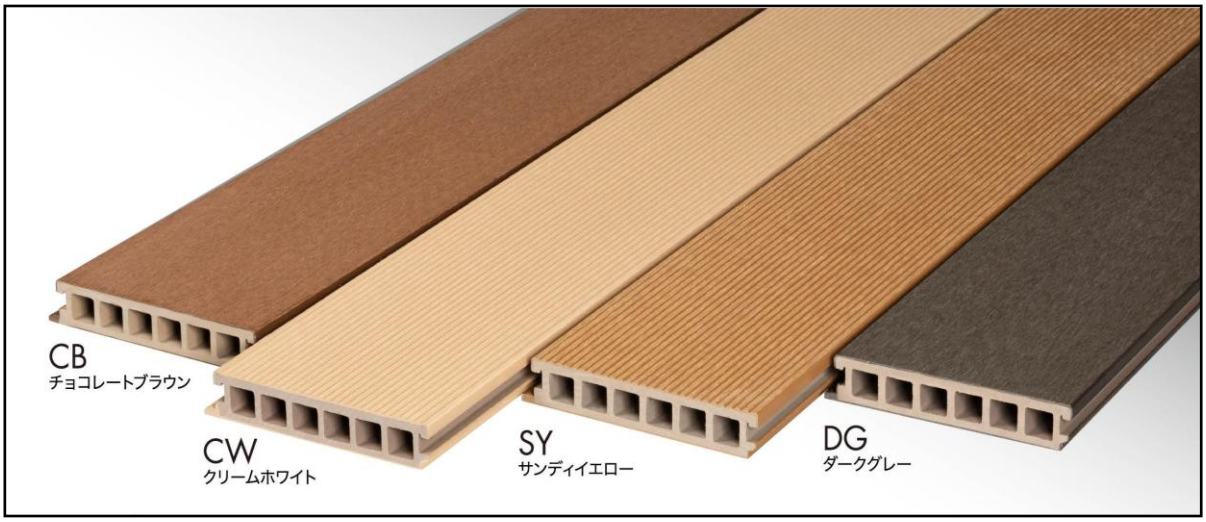
アート・コム・ウッド
ベーシック・デッキ　取扱説明書



2026年6月（改訂）

株式会社　呉松

高岡本社　〒933 - 0853　富山県高岡市上黒田 278-1

ＴＥＬ（0766）23 - 0948　ＦＡＸ(0766)26－5003

富山工場　〒939-0281　富山県射水市北高木 122-1

http://<http://www.artcompwood.com>

目次

P1～P4　1） ベーシック・デッキの基礎知識

P1、P2　1-1 基本構造・各部名称

P3、P4　1-2 ベーシック・デッキの特性

- 《色について》
- 《変色・シミについて》
- 《熱伸縮について》
- 《表面温度について》
- 《帯電・静電気について》
- 《デッキ材への荷重について》
- 《燃焼について》
- 《その他》

P5　2） 使用上の注意事項

P6、P7　3） お手入れ

- 《日ごろのお手入れ》
- 《ひどい汚れ・雨染み》
- 《頑固な汚れ・キズ》

P8　4） メンテナンス

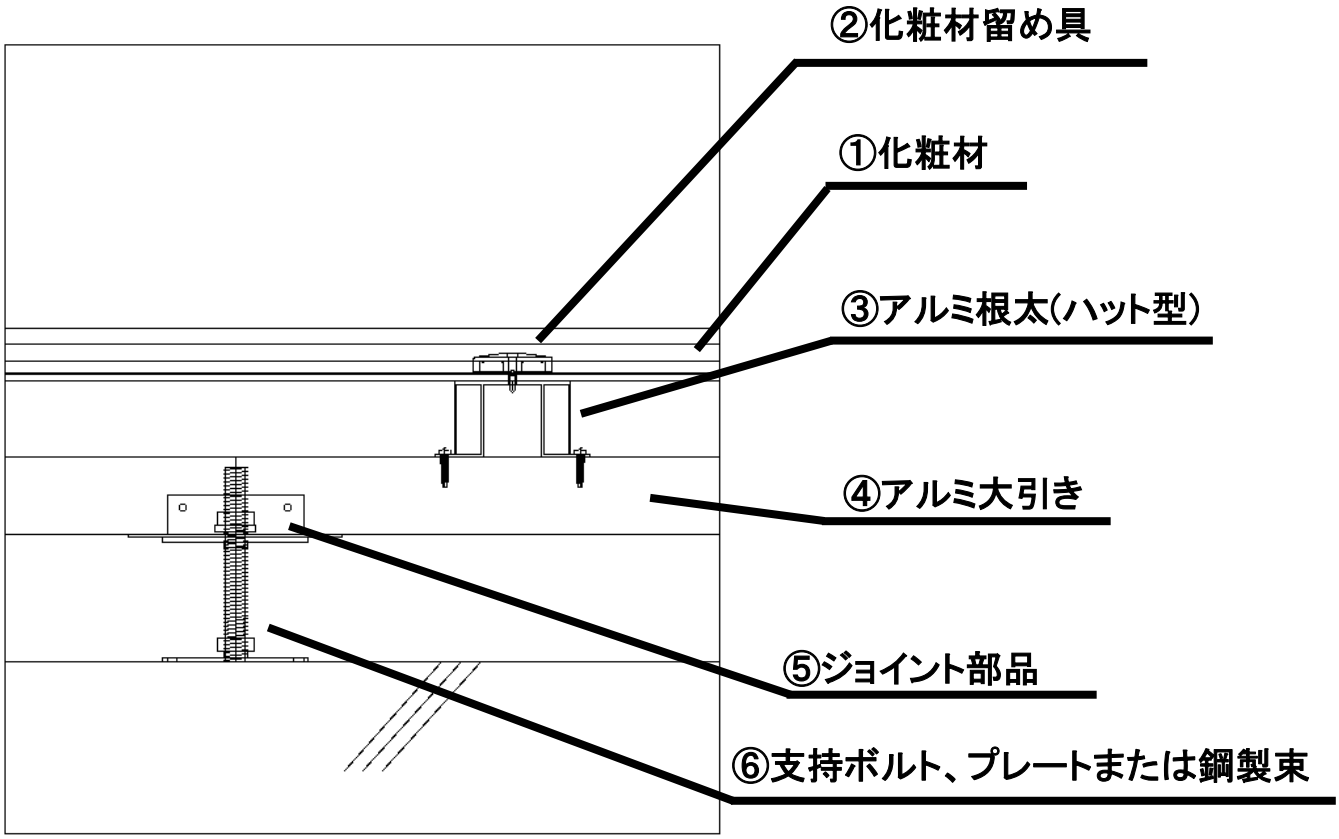
- 《床下の点検について》

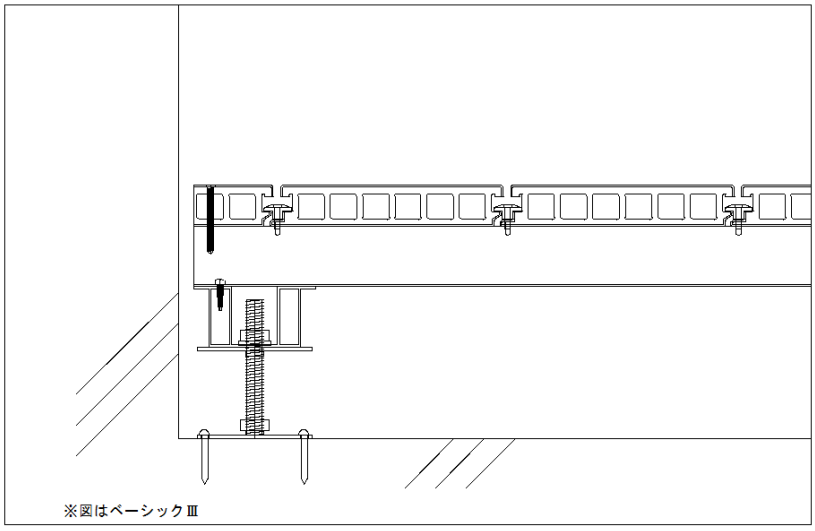
P9　5） 修理依頼について

P10、P11　6） 商品保証について

1） ベーシック・デッキの基礎知識

1-1 基本構造・各部名称





①化粧材

化粧材は、木粉+合成樹脂(PP、PE)で出来ています。
化粧材は化粧材取り付け部品でアルミ根太に固定されて
おります。

②化粧材留め具

化粧材留め具は化粧材をアルミ根太(ハット型)に固定し
目地をそろえる役割をしています。

③アルミ根太(ハット型)、④アルミ大引き

アルミ根太(ハット型)、アルミ大引きはデッキ材の
ベースとなる部分で
ジョイント部品でしっかりと固定されています。
※低床仕様の場合は、大引きを使用しない場合があります。

⑤ジョイント部品

ジョイント部品はアルミ根太、アルミ大引きのジョイント部分
を固定する部品です。
ドリルビスで固定します。

⑥支持ボルト、プレートまたは鋼製束

支持ボルト、プレートまたは鋼製束は、大引きまたは根太を支え
また、床の凹凸や勾配を吸収してデッキ材を水平に保つ役割をし
ています。
※高床仕様の場合は鋼製束となります。図1
※支持ボルト、プレートをビス止めまたは接着が出来ない場所に
設置する場合は緩衝材付ボルトを使用します。図 2

図 1 鋼製束

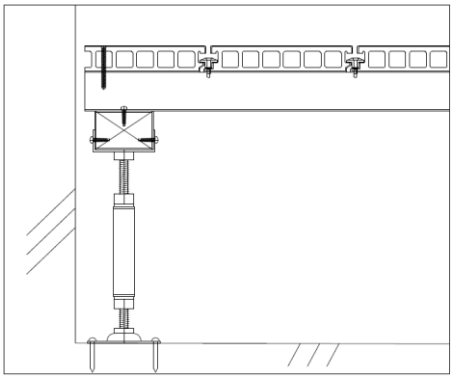
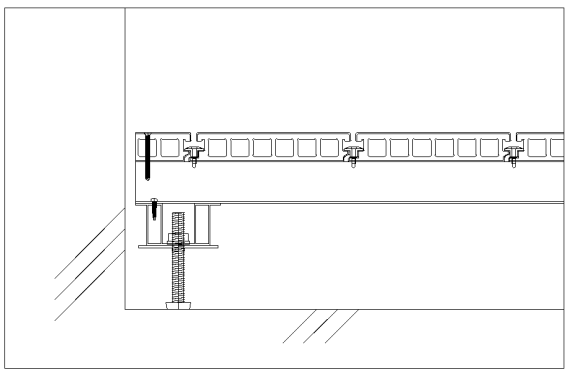


図 2 緩衝材付ボルト



1-2 特性

□《色について》

・ ベーシック・デッキの化粧材は間伐材などの天然木粉を約５０％使用している為、製品により色のバラつきがあります。
色調限度内での多少の色の違いにつきませては予め御了承ください。

□《変色・シミについて》

・ 経年変化による変色は、避けられませんが天然木デッキと比較すると変色度合は小さく、変色のスピードは緩やかです。
但し、変色速度、変色度合は設置環境によって異なり、長時間に直射日光を受ける場所などは変色速度、変色度合は速く大きくなります。
・ 雨などで化粧材が濡れると天然木の成分が染み出し乾燥後シミが残ることがあります。
※注　特に淡い色については多く出ることがあります。
・ シミや汚れが付着した場合中性洗剤を含ませたモップなどで洗浄してください。洗浄後は洗剤が残らないようにきれいに水洗いをしてください。(※注　シンナーなどを使用しないでください。製品が溶解する恐れがあります。

□《熱伸縮について》

・ 冬場と夏場では 1m当たり約 3mm 程度の伸縮があります。
但し、２～３年経過しますと、開放膨張となり伸縮は減少していきます。

□《表面温度について》

・ 直射日光を受けると化粧材の表面温度は上昇します。
・ 夏場など気温が高いときに直射日光を受け化粧材表面温度が上昇しているときは、スリッパなど履物を着用し歩行してください。
裸足で歩行しますと火傷の恐れがあります。

□《帯電・静電気について》

・ 再生木材は原料にプラスチックを含むことから、静電気の発生しやすい時期に(湿度が低い)には放電現象が起こる場合があります(帯電抑制仕様としての機能は有していますが、設置場所や自然の環境、個人差により静電気を感じる場合はあります)。

□《デッキ材への荷重について》

・ 重量物を置くときは、敷板などで荷重が集中しないようにしてください。
・ 重量物を落とすと化粧材が破損する恐れがありますのでご注意ください。

□《燃焼について》

・ デッキ・ベーシックは不燃材料ではありません。
火を近づけたり過熱する行為は、化粧材が燃焼したり変形する原因となりますので絶対に行わないでください。

□《その他》

・ 製品に灯油やガソリンなどの有機溶剤が付着した場合は変色、変形の要因となりますのですぐにふき取ってください。
・ 品質には万全を期しておりますが同色の製品間で若干の色のバラつきや、使用上支障をきたさない範囲で変形があります。予めご了承ください。
・ 腐食性ガスや海水、あるいは砂塵にさらされるような環境や積雪地帯で使用する場合は設置場所の環境を十分に調査の上ご使用ください。

2） 使用上の注意事項

※ 夏場など直射日光を受け化粧材表面温度が上がっているときはスリッパなど履物を着用し歩行してください。
裸足で歩行しますと火傷の恐れがあります。

※ ベーシック・デッキは約 300kg/㎡の耐荷重がありますが
重量物を置く場合は、敷板などで荷重が集中しないようにしてください。
長期間、集中荷重するとデッキ材の破損や不具合の原因になる場合があります。

※ 樹脂が燃えて火災の原因になる恐れがある為、下記の行為は絶対にしないでください。
・デッキ材の上で焚き火をしないでください。
・本製品を直接過熱する行為(バーベキューコンロを置くなど)をしないでください。
・タバコの投げ捨てをしないでください。
・給湯器、暖房器具などの熱排気が直接当たらないようにしてください。

※ 化粧材表面が雨などで濡れているときは、非常に滑りやすくなっておりますので、歩行には十分に注意してください。
転倒しケガをする恐れがあります。

※傘などの先端の尖ったもので意図的に衝撃を与えないでください。

※デッキ面材の隙間や壁際との間には指や手は差し込まないでください。
（手や指のケガや骨折をする恐れがあります）
●特にマンション等の共用部にて排水溝清掃の隙間を取ってある場合では十分にご注意願います。
（作業時には軍手やゴム手袋の着用をお願いいたします）

3） お手入れ

□《日ごろのお手入れ》

・ 塗装やワックス掛けの必要はありませんが、汚れやシミを放置しますと、こびりついて大変落としにくくなりますので、こまめに水洗いやモップ、雑巾等での水拭きをお勧めします。

① ほうきなどで埃やごみを取り除きます。

② シミなどの汚れがある場合は中性洗剤を含ませたモップや柔らかいデッキブラシなどで溝（長手）方向に沿って洗浄を行ってください。

※硬いブラシやヤスリで擦ると、化粧材表面のキズや削り過ぎになりますので柔らかいものをご使用ください。

※特に汚れがひどい場合は汚れ部分に漂白剤を塗布し、放置後十分な水で洗い流してください。

※漂白剤の使用にはゴム手袋着用の上注意して使用してください。

□《ひどい汚れ・雨染み》

・ 環境によってタンニン（植物に含まれる水溶性化合物で黒色の物質）やカビやコケが発生する場合があります。これは天然木材も同じでありますが、タンニンはまわりに樹木がある場合、樹液と共に地表に落ち青黒色の斑点を生じる場合があります。カビやコケは、湿気の多い部分や日の当たらないところに発生しやすく、フェンスで影になる部分や日除けの下などは注意が必要です。カビやコケはウッドデッキに限らず、外部にあるものになら必ず発生する可能性はあります。ただ、ウッドデッキはカビ菌が付いた状態で放置されることが多いので、カビが生えやすく思われがちです。また、カビの色は黒っぽいので、薄い色のデッキだとどうしても目立ちやすいということはあります。ウッドデッキをご利用になるには、頑固な汚れになる前の定期的な清掃をお願いいたします。

・ 汚れがひどい場合は、食器洗剤などの中性洗剤を水で薄めた液を使用し、スポンジなどで軽く擦って洗浄してください。

・ 洗浄後は洗浄液が残らないよう水で流してください。

・ 雨などで化粧材が濡れると天然木の成分が染み出し乾燥後シミが残ることがあります。
この場合も、水で薄めた中性洗剤で洗浄してください。

※酸性やアルカリ性の薬品を使用すると化粧材が変質することがありますので、必ず中性のものを使用してください。

□《頑固な汚れ・キズ》 ※化粧材の交換

・ 中性洗剤でも落ちない汚れはサンディングで目立たなくすることが出来ます。
・ サンドペーパー(＃40～60)をあて木に巻き、汚れ付近を中心にぼかすように軽く数回、長手方向に擦ってください。
・ デッキ表面に傷がついた場合はサンドペーパーで筋目に合わせこすると、下から新しい表層があらわれ、補修が可能です。
※表層のみを削って補修することは可能ですが、削り過ぎや表層よりめり込んだキズはアンコ材が露出してしまいますので、補修は不可になります。
※部分的なキズ補修を行った場合、周囲との風合いが違って見えることがあります。大きなキズや周囲との風合いが気になる場合は交換していただくことをお勧めいたします。

※ 化粧材を部分的に交換するときには、天ビス打ちによる仕様になる場合もあります。

□※注意《洗浄用機械》

・ 高圧洗浄機やポリッシャー等の機械洗浄機を使う注意点としては、噴射モードや洗浄力は威力の弱いものから試してください。
又、ブラシは硬いものは使用しないでください。
噴射が一点に集中する「直噴」モードや強い洗浄力・硬いブラシだと、高圧な水流や洗浄力・ブラシの硬さにデッキ素材が負けてしまい、表層面が削れるなど洗浄痕が残ってしまう可能性がありますのでご注意ください。
※使用洗剤(薬品成分)にもご注意ください。

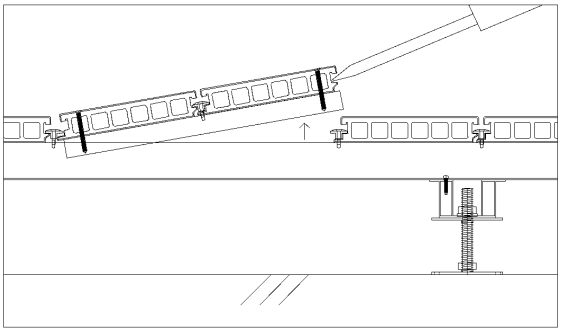
4） メンテナンス

口《床下の点検について》

・ ベーシック・デッキはコインや指輪が落ちない構造になっておりますので、定期的な床下の点検は必要ありませんが、お客様のほうで点検を行われる場合は以下の手順で行ってください。
※点検口設置の場合。

・点検口の開閉。

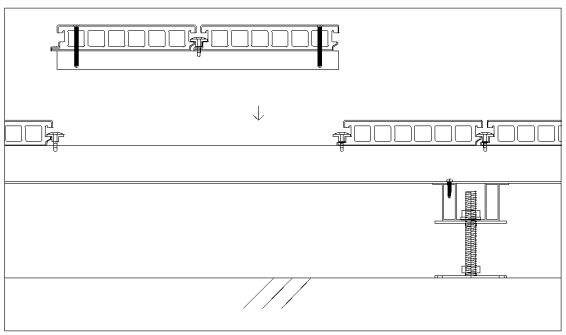
1. 点検口の溝のあるほうにマイナスドライバー等をあて、点検口のフタを浮かせ開けてください。



2. 点検後、静かに点検口のフタを置いてください。

※ 点検口を取り扱うときは指などを挟んでケガをする恐れがありますので、充分注意してください。

※ 軍手などの手袋着用での作業をお願いいたします。



5） 修理依頼について

・ 商品の修理依頼、部品交換などについては、まずご契約・ご購入された販売代理店、または建築会社にご連絡ください。

■ お客様メモ（ご購入の際、御記入ください。）

商　品　名	アート・コム・ウッド　ベーシック・デッキ
ご購入年月日	年　　月　　日
建築会社	社名
	TEL
販売代理店	社名
	TEL
メモ	

6） 商品保証について

当社は当社製品に関して、以下に記載の保障期間、保証内容の範囲において無償修理をさせていただきます。保障期間中に故障、破損などの不具合が発生した場合にはご購入先(建築会社、販売代理店)にご連絡ください。

□《保障期間》

- 建築会社、販売代理店よりの商品引渡し日から 2 年間
  - ◆ 改修工事等の場合、引渡し日は改修部分の工事完了日となります。
  - ◆ 新築(戸建、集合住宅)の場合の引渡し日は建築物が建築主へ引渡しされた日となります。

□《保証内容》

- 取扱説明書に基づく適正なご使用状態で、保障期間内に不具合が発生した場合、下記に明記する免責事項を除き無償修理を致します。

□《免責事項》

- 保証期間内でも、次のような場合は有償修理とさせていただきます。
  - ◆ 当社の手配によらない第三者の施工、管理、加工、メンテナンスによる不具合。
  - ◆ 製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合。
  - ◆ 建築躯体の変形などの製品以外の不具合に起因する製品の不具合。
  - ◆ 製品の経年変化(使用に伴う消耗や磨耗など)や経年劣化(変質、変色など)これらに伴う錆、カビまたはその他の不具合。
  - ◆ 自然環境や住環境に起因する腐食またはその他の不具合。
  - ◆ 製品の材料特性に伴う現象(反り、色あせ、色合いの違い、天然木成分のシミなど)
  - ◆ 天災その他の不可抗力(猛暑、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
  - ◆ 実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。

- ◆ 犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫などの動物に起因する不具合。
- ◆ 引渡し後の誤った使用、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- ◆ お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造(必要部品の取り外しを含む)に起因する不具合。
- ◆ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ◆ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※その他、カタログ・ホームページ等に記載されている注意事項。
※保障期間経過後の修理、交換などは有償にて対応させていただきます。

※この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証内容について御不明な点がございましたら弊社までお問い合わせください。